

会議録

| | |
|---|--|
| 会議の名称 | 加東市民病院経営健全化基本計画評価委員会 |
| 開催日時 | 令和3年1月19日(火) 書面協議開始 令和3年1月29日(金) 書面協議終了 |
| 開催場所 | 書面協議として開催 |
| <p>議長の氏名 委員長 浅野 良一</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>出席委員：西山 敬吾、三木 秀文、高橋 優、小西 勝之、松浦 千秋、藤井 和美</p> <p>欠席委員：なし</p> | |
| 説明のため出席した者の職氏名 | |
| <p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>病院事業管理者 金岡 保、事務局長 堀田 敬文、看護部長 黒崎 良子、 ケアホームかとう事務長 柳 博之、経営企画課長 大末 美佳、 総務課長 北島 崇裕、医事課長 谷口 一史、経営企画課係長 三村 彰彦</p> | |
| <p>議題、会議結果、会議の経過及び資料名</p> <p>1 協議事項（加東市民病院経営健全化基本計画進捗状況）の説明（事務局） （質疑応答）</p> <p>委員長 新型コロナウイルス感染症が拡大している状況で、医療機能が維持できていることは、懸命に努力されている結果であり、大変評価できます。感染防止対策を講じながら、今後も市民の方々に必要な診療が継続できることを期待します。</p> <p>また、計画の骨幹である医師の確保ができており、経営の礎が築けています。経営を安定させるには、市民に求められる医師が必要ですので、引き続き地域医療に貢献される医師の確保に努めてください。</p> <p>新型コロナウイルス感染症は、日常生活に大きな影響を及ぼしています。このような状況では、病院の役割がとても大切であり、加東市民病院の存在意義が市民の方々へよく伝わっていると思います。今後も、加東市民のためにあるべき姿を継続してください。</p> <p>委員 本年度は、病院事業、介護老人保健施設事業、訪問介護事業のすべてにおいて、重要経営指標の悪化が確認できます。これは、新型コロナウイルス感染症の影響によるものが主な原因であることは事実です。しかしながら、当該感染症が収束すれば、経営健全化基本計画の目標値に近づいていけるのかどうかを検証しなければならないのですが、これは容易なことではありません。</p> <p>病院事業では、入院、外来とも診療単価が上がっていることは大いに評価できますが、病床稼働率、1日あたりの入院、外来患者数、手術件数が悪化しているところ、また、介護老人保健施設事業では、入所利用率、通所利用率ともに悪化しているところが気になります。今はコロナ禍の影響を明確に算定することが困難なため、病院、ケアホームかとう、訪問看護ステーションが連携し、効率的な経営を目指して、全職員が一丸となって取り組んでほしいと思います。</p> | |

委員 金岡院長を始め、病院関係者の皆さま、令和2年の1年間は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に取り組み、市民の安全安心を守っていただきありがとうございます。まだまだ収束が見えてこない中、引き続きよろしく願いいたします。

入院患者や外来患者が減少する中、皆さんの頑張りで診療単価を向上されました。収益面では、新型コロナウイルス感染症の影響により収益減となっていますが、経常損益で、98,248千円の黒字転換は素晴らしいです。この結果は、病院長の方針が医師、看護師など病院職員の皆さまに通じている表れだと思います。下期も頑張つて黒字を確保してください。

なお、介護老人保健施設事業、訪問看護事業についても、入所率の減少や訪問回数の減少も新型コロナウイルス感染症の影響によるものですので、これも新型コロナウイルス感染症の収束により回復すると考えてよいでしょうか。

また、脳神経内科医と整形外科医の補充の見込みはありますでしょうか。

事務局 介護老人保健施設事業や訪問看護事業においても、新型コロナウイルス感染症が収益に影響を及ぼしていますが、感染防止対策を講じながら、安全に利用していただくことで、利用者の確保に努めてまいります。

また、医師の確保につきましては、積極的に取り組んでいますが、現状ではご期待に沿える結果は残せておりませんので、引き続き、市民の方々が必要とされる診療が行えるよう、医師の募集を行っていきます。

委員 新型コロナウイルス感染症を病院内に絶対入れない対策として、病院入口で来院者へ声掛けをしてはどうでしょうか。また、ワクチン接種は、加東市民病院でできるようになりますか。

事務局 病院職員と来院者の接触の機会を減らすため、正面玄関での声掛けを自粛しております。有症状者に対して、正面玄関前に呼出ベルを設置することや外来診察受付時の聞き取りを慎重に行うことにより、病院内へ持ち込ませない対策を講じています。

また、ワクチン接種は、現在調整中の内容が多くありますが、国などの実施方針に基づき、当院での役割を担ってまいります。

委員 コロナ禍では患者の減少はやむを得ません。10月末現在の実績では、まずまずの進捗状況であると思います。昨年度の決算額に届かないと思いますが、こちらについてもやむを得ないと考えますが、目標値の9割は達成してほしいと思います。これからの奮闘を期待します。

委員 新型コロナウイルス感染症に伴う業務負担の増加と病院スタッフの皆様の甚大なご苦労やお気遣いに対し、心より感謝と敬意を表します。

経営上の数字に関しましては、病院の皆様のいつもの変わらぬ努力の結果であると信じております。

私の仕事であるケアマネとして関わらせていただくご利用者様やご家族様から、加東市民病院が地域の病院として安心して頼れる病院であると聞くことが多くなってきていることは事実で、その理由に「ええ先生がおってや、看護師さんがよくしてくれる。」と言われるのも、病院の皆様の経営努力の結果であると思います。

訪問看護サービスにつきましても、ケアプラン作成の際、加東市民病院の訪問看護事業所の訪問看護サービスを受けたいとの利用者様からの要望も多く、また、病院の先生だけでなく、かかりつけ医の先生からも加東市民病院の訪問看護でとの指示をいただくことも多くなってきております。

在宅生活の継続に医療と介護の連携の重要性が高まる中、加東市民病院の存在はとても大切であることは間違いのないことでありますので、今後ともどうぞよろしくお

願いいたします。

委員 医師14人での診療が継続できていることは、地域住民の安心な暮らしに繋がっています。人員が増えたとしても、薬剤師の説明や療法士のリハビリが丁寧に行えている様子は、とても満足度が高く、良いことだと思います。介護老人保健施設事業は、目標達成割合が47.9%と低く、なぜ低いのか原因を探り、病院はコロナ禍でも頑張っているの、一層の努力をしていてもらいたいと思います。訪問看護事業も、コロナ禍で大変ですが、今のまま続けてほしいです。救急患者数の減少は大変ですが、今後増えることを期待します。

事務局 介護老人保健施設事業の目標達成率が低いことについては、入所者の新型コロナウイルスの感染防止を最重点として入所調整を行ったことに起因して、空床期間が発生したことが大きな要因となっています。今後も感染防止対策を講じながら、入所者の確保に努めてまいります。

令和3年 2月12日

委員長 浅野良一 